

宮津市須津及び一部与謝野町石川に建設中の新しい広域ごみ処理施設の建設について、2019年1月から5月の主な作業と工事の進捗状況をお知らせします。

5月末の進捗率は44%で、2020年4月のごみ全量受け入れ・実質稼働に向けて、着実に工事を進めて参ります。

\* 工事進捗は本組合HPでも確認いただくことができます。

HP: <http://mykankyo.jp/>

宮津与謝環境組合

住所: 与謝郡与謝野町字岩滝1798番地1 与謝野町役場内  
電話: 0772-46-9015



施設完成イメージ

【工事概要】

施工者: タクマ・金下特定建設共同企業体

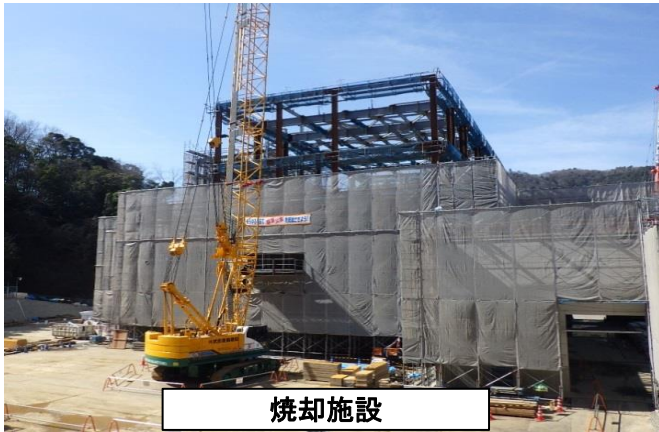
工期: 2016年4月22日 ~ 2020年6月30日

設備概要: ごみ焼却施設(30t/24h)、メタンガス化施設(20.6t/24h)、リサイクル推進施設(14.9t/5h)

【2019年5月の主な作業】

階層	焼却施設		リサイクル推進施設	
	建築	機器据付	建築	機器据付
地下階	防水工事	水槽・ポンプ類	コンクリート仕上作業	据付完了
地上1階	コンクリート仕上作業、内壁・外壁工事、塗装工事 他	粗大ごみ処理装置、一般ごみ選別設備、ガス発電機 他	コンクリート仕上作業、内壁・外壁工事、塗装工事、屋根工事 他	資源ごみ供給コンベヤ(かん、プラスチック、粗大ごみ)、手選別コンベヤ、機械選別設備、集じん装置 他
地上2階				
地上3階				
地上4階		作業なし		

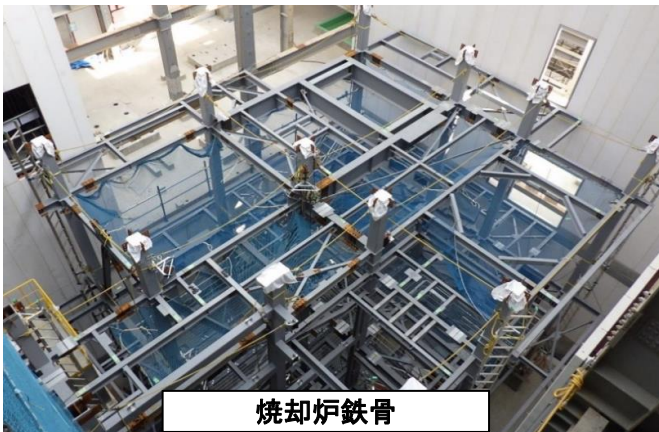
【工事進捗の様子】



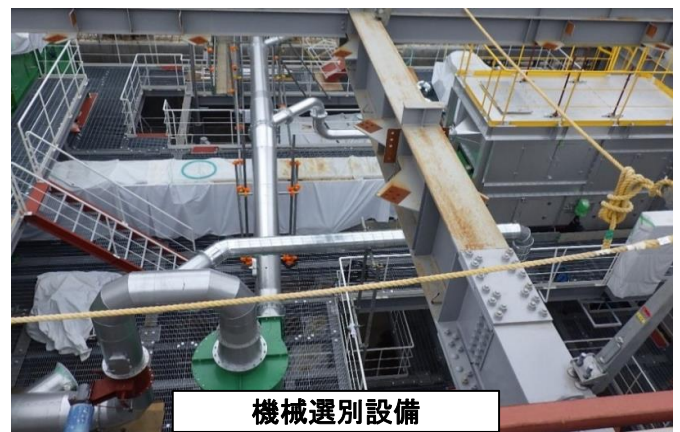
焼却施設



リサイクル推進施設

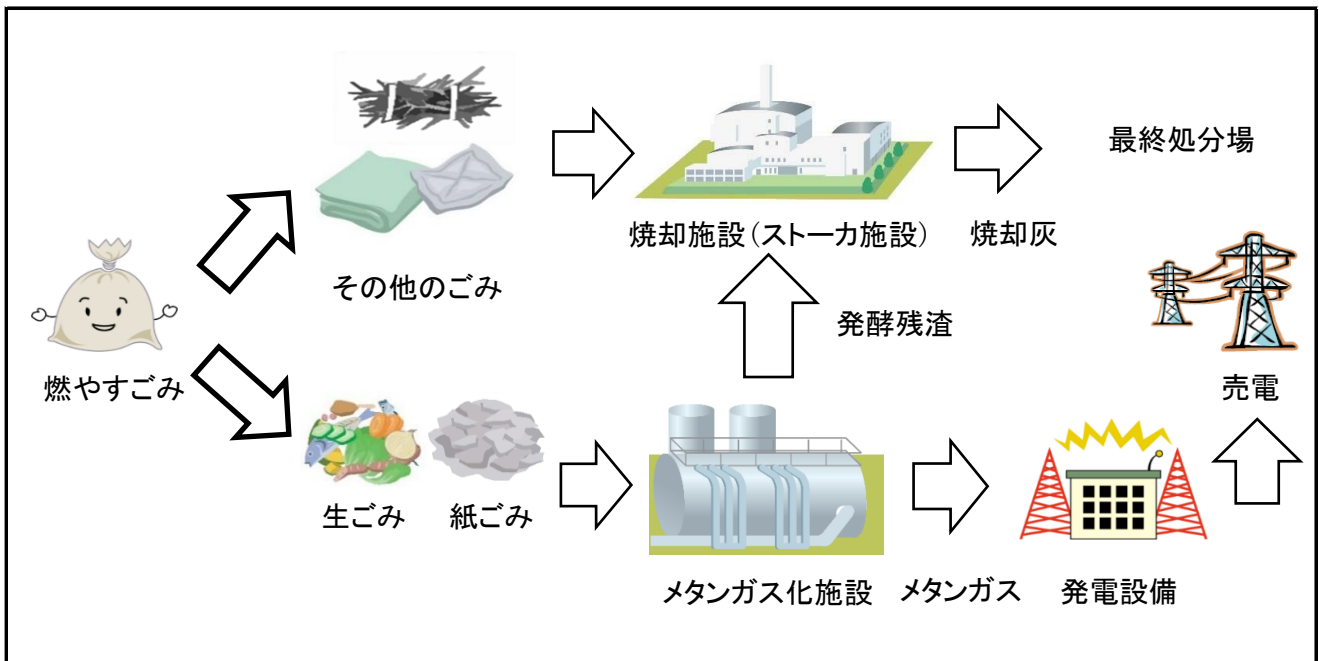


焼却炉鉄骨



機械選別設備

## 【本施設の燃やすごみ処理フロー】



◇燃やすごみについては、上記処理フローのとおり、ストーカ施設(焼却施設)とメタンガス化施設により燃やすごみの処理を行います。

なお、燃やすごみの出し方は従来どおりで、施設に受け入れてからストーカ施設に投入するごみと、メタンガス化施設に投入するごみを機械によって、破碎選別します。

この処理方式は、次のようなメリットがあります。

○燃えやすいごみと燃えにくいごみを分けて処理するため、焼却するごみ量の削減と環境負荷の軽減が図れます。

○生ごみ、湿った紙類などからメタンガスを取り出し、エネルギーの効率的な活用が可能であり、ストーカ施設単体に比べてエネルギー回収量、温室効果ガス削減量が大きくなります。

○メタンガスによる発電及び電力の固定価格買取制度(FIT制度)を活用した売電を行うことで、維持管理費を削減できます。

また、メタンガス化施設の発酵残渣は、脱水後、固形物は焼却処理、分離水はメタンガス化施設への加水、排水処理施設で焼却施設汚水とともに処理し、焼却施設の冷却水として再利用するため、施設内から発生する排水は外部には排出しない計画としています。

## 【メタンガス化施設とは】

メタンガス化施設は、従来燃やすごみとして焼却処理されていた生ごみや湿った紙類等を機械選別してメタン発酵させメタンガスを回収する施設で、回収したメタンガスにより高効率な発電が可能です。

## 【メタン発酵とは】

えさ(原料)となる生ごみ(食べ残しなど)、紙ごみ、家畜のふん尿などを嫌気環境(酸素のない状態)で微生物によって分解・発酵させます。発生したメタンガスは燃えやすい気体なので、発電も可能です。

※残渣については焼却処分します。